

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	富山県	代表者名	新田 八朗		
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	デジタル化推進室	連絡先電話番号	076-444-9659
担当者役職	主任	担当者氏名	上坂 和也	連絡先E-mail	
住所	930-8501 富山県富山市新総曲輪1-7				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	富山型官民データラウンドテーブル
概要	主に防災に関するオープンデータの活用事例についての講演および官民ラウンドテーブルにおいてファシリテーターとしてディスカッションのサポートやアイデアに対するご助言をいただきたい。		
支援を求める分野	オープンデータ 防災		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
対応日・時間	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年10月7日	支援・助言&講演（実地）	13時30分	17時15分	
				活動時間（分）	225
2-2.	会場名	富山県民会館	最寄駅	富山駅	
派遣場所	所在地	富山県富山市新総曲輪4-18	最寄駅からの交通手段	徒歩10分程度	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川島 宏一
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	データ活用の有識者として、防災分野に関するデータの活用事例の紹介と講演後のディスカッション時のコツ等を講演頂いた。また、ラウンドテーブル（ディスカッション）では、ファシリテーターとして参加いただき、各グループのアイデアについてご助言をいただき、各グループのアイデアがより具体化された。ディスカッション後のグループごとの発表について、的確な講評をいただいた。
アドバイザーへの要望事項	次回のデータラウンドテーブルでも、講演とファシリテーターとして参加いただければ大変ありがたい。引き続き、ご支援をお願いしたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	31人	
	属性 自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数 9	0	20	2

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	データ連携基盤を構築したばかりであるため、県民の生活に資するようなユースケースは創出できておらず、官民データラウンドテーブルで創出されたアイデアを参考に県民の生活向上になるような機能拡張を検討する必要がある。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	官民ラウンドテーブルの参加者がそれぞれの役割の中で活発な意見交換（ディスカッション）を行うことで、データ連携基盤やシームレスデジタル防災マップに関するアイデアが提言されること。創出されたアイデアの中で、実現可能な機能等を令和8年度までに取込む。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	データ活用の有識者として、防災分野に関するデータの活用事例の紹介と講演後のディスカッション時のコツ等をご講演いただいた。また、ラウンドテーブル（ディスカッション）では、ファシリテーターとして参加いただき、各グループのアイデアについてご助言をいただき、各グループのアイデアがより具体化された。最後のディスカッション後のグループ発表について、的確な講評をいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	官民データラウンドテーブルのディスカッションおよび最後のグループ発表・講評の場で、シームレスデジタル防災マップの平常時や被災時における様々な活用アイデアが提案された。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 ラウンドテーブル（ディスカッション）での最後のグループ発表から、避難者の属性に応じたプッシュ通知機能の追加、LINR/Google Mapとの連携、道路管理者側からの道路啓開情報の共有、法人とのクローズドな情報共有、非常時のトップページの災害関連リンクへのナビゲーション表示などのシームレスデジタル防災マップにおける様々なユースケースや改善提案が提出された。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	データ連携基盤にデータをアップする法人等と県とのデータアップについて、ルール整備の必要性は指摘されたが、ルール整備に向けた具体的なアクションに繋がられる議論まではできなかった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは参加者に対して回答依頼中であるが、概ね好評であった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他 各グループのアイデアをもとに、問題・課題を整理し、機能や活用方法を具体化後、予算化を進める。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	創出されたアイデアの中で、実現可能な機能等をデータ連携基盤やシームレスデジタル防災マップに取込むことで、県民の安全・安心に寄与し、県民のウェルビーイング向上につなげる。また、定期的に官民データラウンドテーブルを実施し、官民でのデータ活用を促す。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真 (JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

